

# 鳥取大学大学院医学系研究科規程

平成2年2月26日

鳥取大学医学部規則第1号

## (総則)

第1条 鳥取大学大学院医学系研究科（以下「本研究科」という。）に関する事項は、鳥取大学大学院学則（平成16年鳥取大学規則第56号）及び鳥取大学学位規則（昭和35年鳥取大学規則第3号）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

## (入学志願者の選考)

第2条 入学志願者に対する選考は、学力試験、面接、出身大学の成績証明書等を総合して行う。

## (教育方法)

第3条 研究科の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。

- 2 指導教員は、毎年、学年の始めに所定の研究指導計画書を作成し、学生へ明示した上で、専攻長を通じて医学系研究科長（以下「研究科長」という。）に届け出るものとする。
- 3 本研究科において開設する授業科目及び単位数は、博士課程にあつては別表1の1、別表1の2、別表1の3及び別表1の4、博士前期課程（修士課程を含む。）にあつては別表2の1及び別表2の2、博士後期課程にあつては別表3のとおりとする。
- 4 前項に定めるもののほか、博士課程及び修士課程共通の選択授業科目及び単位数は、別表4のとおりとする。

## (教育方法の特例)

第3条の2 本研究科博士課程、博士前期課程及び博士後期課程においては、教育上特別の必要があると認められた場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

## (履修方法)

第4条 学生は、指導教員の研究指導を受け、第3条に定める授業科目を次の表に定める課程に従いそれぞれの単位を修得しなければならない。

博 士 課 程	
主 科 目	20単位以上
主科目1	12単位以上（特論8単位以上、演習4単位以上）
主科目2	8単位以上（特論4単位以上、演習4単位以上）
副 科 目	4単位以上（特論2単位以上、演習2単位以上）
選択科目	6単位以上
計	30単位以上

博士課程（腫瘍専門医コース）	
系統講義コース科目	6 単位以上
トレーニングコース科目	22 単位以上
アドバンスドコース科目	2 単位以上
計	30 単位以上

博士課程（革新的未来医療創造コース）	
講義科目	10 単位以上
演習科目	12 単位以上
特別研究	5 単位
計	30 単位以上

博士課程（障害児医療学コース）	
講義科目	9 単位以上
演習科目	1 単位以上
実習科目	1 単位
特別研究	10 単位
計	30 単位以上

医科学専攻			
博士前期課程		博士後期課程	
基盤的教育科目	7単位	基盤的教育科目	3単位
分野横断的科目	1単位以上	スペシャリスト教育科目	2単位以上
専門家養成科目	8単位以上	アドバンス教育科目	1単位以上
特別研究	10単位以上	特別研究	4単位以上
計	30単位以上	計	12単位以上

臨 床 心 理 学 専 攻	
修 士 課 程	
必 修 科 目	30 単 位
選 択 必 修 科 目	2 単 位 以 上
選 択 必 修 科 目 B	2 単 位 以 上
選 択 必 修 科 目 C	2 単 位 以 上
選 択 必 修 科 目 D	2 単 位 以 上
選 択 必 修 科 目 E	2 単 位 以 上
選 択 科 目	2 単 位 以 上
計	42 単 位 以 上

2 博士課程の学生は、主科目2、副科目及び選択科目の履修についてあらかじめ主科目1の担当教員の指示を受けなければならない。ただし、腫瘍専門医コース、革新的未来医療創造コース及び障害児医療学コースは除くものとする。

第5条 学生は、入学時に指導教員の承認を得て、履修する授業科目を定めて、指定の期日までに所定の履修科目届を研究科長に届け出なければならない。

第6条 授業科目の演題目（授業内容）はあらかじめ担当教員がシラバス等をもって発表する。

第7条 本研究科の学生は、指定された区分の科目に代えて他専攻の科目を履修しようとするときは、指導教員の承認を得て、履修科目届を提出しなければならない。

第8条 研究科長が必要と認めたときは、本学の他の研究科又は学部のうちから、授業科目及び単位数を指定して履修させることができる。

（他大学大学院等の授業科目の履修）

第9条 学生は、本研究科大学院委員会の議を経て、他大学大学院等の授業を履修することができる。

2 前項の規定により履修し、修得した単位は、本研究科大学院委員会の議を経て、10単位を超えない範囲で課程修了要件となる単位のなかに含めることができる。

（特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、聴講生及び研究生）

第10条 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、聴講生及び研究生については別に定める。

(単位認定及び学位論文審査)

第11条 履修した科目の単位認定は、試験又は研究報告等により科目担当教員が学期末及び学年末に行う。

2 試験は、筆記試験及び口頭試問又は研究報告書等により行い、試験の期日はあらかじめ発表する。

(修了認定)

第12条 本研究科の修了認定は、博士前期課程については本研究科大学院委員会が、博士課程及び博士後期課程については本研究科委員会が行う。

2 博士課程及び博士後期課程の学位論文の提出等は、鳥取大学大学院医学系研究科博士課程の学位に関する内規(平成6年鳥取大学医学部規則第8号)及び鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程の学位に関する内規(平成9年鳥取大学医学部規則第4号)定めるところによる。

3 博士前期課程の学位論文の提出等は、鳥取大学大学院医学系研究科博士前期課程の学位論文審査等取扱要項(平成6年鳥取大学医学部規則第9号)に定めるところによる。

(学位の授与)

第13条 本研究科の所定の修了要件を満たした者は、次の区分により学位を授与する。

課程	専攻名	学位
博士課程	医学専攻	博士(医学)
博士前期課程	医科学専攻	修士(医科学)又は修士(保健学)
博士後期課程	医科学専攻	博士(医科学)又は博士(保健学)
修士課程	臨床心理学専攻	修士(臨床心理学)

(雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、本研究科に必要な事項は、本研究科委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成2年4月1日から施行する。

2 鳥取大学大学院医学研究科科目履修に関する細則(昭和33年鳥取大学医学部規則第2号)は、廃止する。

3 平成2年3月31日以前の入学者については、この規程による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成5年5月19日鳥取大学医学部規則第12号)

1 この規程は、平成5年5月19日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

2 この規程による改正後の別表(第3条関係)にかかわらず、平成5年3月31日に在学する者については、なお、従前の例による。

附 則 (平成6年4月1日鳥取大学医学部規則第7号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年3月15日鳥取大学医学部規則第2号)

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成8年3月5日鳥取大学医学部規則第3号)

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年3月21日鳥取大学医学部規則第5号)

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年3月4日鳥取大学医学部規則第15号)

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1、別表2の1及び別表3の1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成18年3月22日鳥取大学医学部規則第16号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月20日鳥取大学医学部規則第5号)

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1、別表2の1、別表3の1及び別表5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成19年11月28日鳥取大学医学部規則第20号)

この規程は、平成19年11月28日から施行する。

附 則 平成20年3月19日(鳥取大学医学部規則第4号)

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1の1、別表1の2及び別表2の3の1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成21年2月19日(鳥取大学医学部規則第1号)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1の1、別表1の2及び別表2の4の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成22年3月19日(鳥取大学医学部規則第7号)

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表2の3の1の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成23年3月19日(鳥取大学医学部規則第7号)

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1の1の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成24年2月6日(鳥取大学医学部規則第1号)

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表2の3の1及び別表3の1の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成25年3月19日(鳥取大学医学部規則第1号)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表1の1、別表2の2、別表2の3の1及び別表3の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成26年3月18日(鳥取大学医学部規則第2号)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成26年9月24日(鳥取大学医学部規則第4号)

- 1 この規程は、平成26年10月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表3の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成27年1月8日（鳥取大学医学部規則第4号）

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日に在学する者については、この規程による改正後の別表2の3の1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成27年1月28日（鳥取大学医学部規則第5号）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 1 平成27年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成27年3月19日（鳥取大学医学部規則第9号）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成28年2月23日（鳥取大学医学部規則第3号）

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成30年2月21日（鳥取大学医学部規則第4号）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の鳥取大学大学院医学系研究科規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 平成31年2月20日（鳥取大学医学部規則第3号）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の鳥取大学大学院医学系研究科規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 令和元年7月24日（鳥取大学医学部規則第4号）

- 1 この規程は、令和元年10月1日から施行する。
- 2 令和元年9月30日以前の入学者については、この規程施行による改正後の鳥取大学大学院医学系研究科規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年鳥取大学医学部規則第1号）

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年鳥取大学医学部規則第6号）

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年11月19日鳥取大学医学部規則第19号）

この規程は、令和3年11月19日から施行する。

附 則（令和4年3月16日鳥取大学医学部規則第2号）

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行し、改正後の別表1の1（医学系研究科博士課程授業科目表）中「器官病理学特論」を「病理学特論」に、「器官病理学演習」を「病理学演習」に改めた部分、「分子病理学特論」及び「分子病理学演習」を削った部分並びに改正後の別表1の2（医学系研究科医学専攻（腫瘍専門医コース））中「器官病理学特論」を「病理学特論」に改めた

部分については、令和2年4月1日から適用する。

- 2 令和4年3月31日以前の入学者（別表1の1（医学系研究科博士課程授業科目表）中「器官病理学特論」を「病理学特論」に、「器官病理学演習」を「病理学演習」に改めた部分、「分子病理学特論」及び「分子病理学演習」を削った部分並びに別表1の2（医学系研究科医学専攻（腫瘍専門医コース））中「器官病理学特論」を「病理学特論」に改めた部分）については、令和2年3月31日以前の入学者）については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和5年3月13日鳥取大学医学部規則第5号）

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和6年2月6日鳥取大学医学部規則第2号）

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日以前の入学者については、この規程施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1の1（第3条関係）

## 医学系研究科博士課程授業科目表

領 域	授 業 科 目	単 位 数
形態・機能制御医学	ゲノム形態学特論	8
	ゲノム形態学演習	4
	人体形態学特論	8
	人体形態学演習	4
	分子代謝制御学特論	8
	分子代謝制御学演習	4
	薬物作用学特論	8
	薬物作用学演習	4
	皮膚病態学特論	8
	皮膚病態学演習	4
	運動器医学特論	8
	運動器医学演習	4
	形成外科学特論	8
	形成外科学演習	4
病態解析・制御医学	薬物治療学特論	8
	薬物治療学演習	4
	病理学特論	8
	病理学演習	4
	機能病態内科学特論	8
	機能病態内科学演習	4
	放射線科学特論	8
	放射線科学演習	4
	臨床検査医学特論	8
	臨床検査医学演習	4
	外科腫瘍学特論	8
	外科腫瘍学演習	4
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	8
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	4
	口腔顎顔面病態外科学特論	8
	口腔顎顔面病態外科学演習	4
	医療薬学特論	8
	医療薬学演習	4
	胸部外科学特論	8
	胸部外科学演習	4
	血液内科学特論	8
	血液内科学演習	4
遺伝医学特論	8	
遺伝医学演習	4	
社会環境情報医学	環境予防医学特論	8
	環境予防医学演習	4
	公衆衛生学特論	8
	公衆衛生学演習	4
	法医学特論	8
	法医学演習	4
	医学教育学特論	8
	医学教育学演習	4
	病態運動学特論	8



	病態運動学演習	4
	救急・災害医学特論	8
	救急・災害医学演習	4
	医療情報学特論	8
	医療情報学演習	4
	地域医療学特論	8
	地域医療学演習	4
発達加齢適応医学	適応生理学特論	8
	適応生理学演習	4
	循環器・内分泌代謝内科学特論	8
	循環器・内分泌代謝内科学演習	4
	発生・発達解析学特論	8
	発生・発達解析学演習	4
	心臓血管外科学特論	8
	心臓血管外科学演習	4
	生殖機能医学特論	8
	生殖機能医学演習	4
	腎泌尿器科学特論	8
	腎泌尿器科学演習	4
	麻酔・集中治療医学特論	8
麻酔・集中治療医学演習	4	
生体防御医学	感染症病態学特論	8
	感染症病態学演習	4
	ウイルス学特論	8
	ウイルス学演習	4
	分子医動物学特論	8
	分子医動物学演習	4
	分子制御内科学特論	8
	分子制御内科学演習	4
	視覚病態学特論	8
	視覚病態学演習	4
	臨床感染症学特論	8
	臨床感染症学演習	4
脳神経医学	統合生理学特論	8
	統合生理学演習	4
	精神行動医学特論	8
	精神行動医学演習	4
	神経内科学特論	8
	神経内科学演習	4
	脳神経病理学特論	8
	脳神経病理学演習	4
	脳神経外科学特論	8
	脳神経外科学演習	4
	小児神経学特論	8
小児神経学演習	4	

備考 授業内容は、別に定める。

別表1の2 (第3条関係)

## 医学系研究科医学専攻 (腫瘍専門医コース)

区 分	授 業 科 目	必修・選 択の別	単位数
系統講義コース科目	臨床腫瘍学総論	必 修	2
	ゲノム形態学特論	選 択	2
	薬物作用学特論	〃	2
	薬物治療学特論	〃	2
	病理学特論	〃	2
	放射線科学特論	〃	2
	外科腫瘍学特論	〃	2
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	〃	2
	口腔顎顔面病態外科学特論	〃	2
	生殖機能医学特論	〃	2
	腎泌尿器科学特論	〃	2
	麻酔・集中治療医学特論	〃	2
	分子制御内科学特論	〃	2
	脳神経外科学特論	〃	2
	血液学特論	〃	2
トレーニングコース科目	患者支援トレーニング	選 択	6
	化学療法トレーニング	〃	6
	放射線治療トレーニング	〃	6
	緩和ケアトレーニング	〃	6
	血液腫瘍トレーニング	〃	6
	呼吸器内科トレーニング	〃	6
	消化器外科トレーニング	〃	6
	消化器内科トレーニング	〃	6
	呼吸器外科トレーニング	〃	6
	乳腺・内分泌外科トレーニング	〃	6
	泌尿器腫瘍トレーニング	〃	6
	頭頸部外科トレーニング	〃	6
	婦人科腫瘍トレーニング	〃	6
	小児腫瘍トレーニング	〃	6
	がんゲノムトレーニング	〃	6
	特別研究	必 修	10
アドバンスドコース科目	交流セミナー	選 択	2
	がんプロ合同セミナー	〃	2
	国際学会発表	〃	1

備 考 合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の  
審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表1の3（第3条関係）

## 医学系研究科医学専攻（革新的未来医療創造コース）

区分	授業科目	必修・選択の別	単位数
講義科目	革新的未来医療創造特論	必修	2
	臨床研究安全倫理特論	〃	2
	知財戦略講義	〃	2
	キャリア形成支援特論	選択	2
	企業開発等技術者講義	〃	2
	基礎医学概論	〃	2
	実用的解剖学特論	〃	2
	実用的生理学特論	〃	2
	実用的病理学特論	〃	2
	実用的感染制御学特論	〃	2
	実用的社会医学特論	〃	2
	未来型地域医療学特論	〃	2
	実用的分子生化学特論	〃	2
	薬物臨床応用特論	〃	2
	薬物治療・医薬品開発特論	〃	2
	実践的放射線科学特論	〃	2
	実践的臨床検査医学特論	〃	2
	実践的循環器病態学特論	〃	2
	革新的機能病態内科学特論	〃	2
	実践的呼吸器病態学特論	〃	2
	革新的小児科学特論	〃	2
	実践的外科腫瘍学特論	〃	2
	心臓血管外科学特論	〃	2
	革新的胸部外科学特論	〃	2
	革新的腎泌尿器科学特論	〃	2
	革新的生殖機能医学特論	〃	2
	革新的麻酔・集中治療医学特論	〃	2
	未来型救急・災害医療特論	〃	2
	実践的運動器医学特論	〃	2
	革新的皮膚病態学特論	〃	2
	革新的視覚病態学特論	〃	2
	革新的耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	〃	2
	革新的口腔顎顔面病態外科学特論	〃	2
	臨床神経内科学特論	〃	2
	臨床神経外科学特論	〃	2
	実践的小児神経学特論	〃	2
	革新的精神医学特論	〃	2
	革新的創薬・育薬特論	〃	2
	未来型医療情報システム特論	〃	2
	革新的臨床感染症学特論	〃	2

演習科目	発明楽実践演習	必修	2
	革新的未来医療創造演習	〃	2
	特許作成演習	選択	2
	低侵襲外科センターメディカルイノベーション演習・I	〃	2
	低侵襲外科センターメディカルイノベーション演習・II	〃	2
	医療機器製品化体験演習・I	〃	2
	医療機器製品化体験演習・II	〃	2
	ゲノム・再生医療先端演習・I	〃	2
	ゲノム・再生医療先端演習・II 臨床医学演習	〃	2
	実践的解剖学演習	〃	2
	実践的生理学演習	〃	2
	実践的病理学演習	〃	2
	実践的感染制御学演習	〃	2
	実践的社会医学演習	〃	2
	未来型地域医療学演習	〃	2
	実用的分子生化学演習	〃	2
	薬物臨床応用演習	〃	2
	薬物治療・医薬品開発演習	〃	2
	実践的放射線科学演習	〃	2
	実践的臨床検査医学演習	〃	2
	実践的循環器病態学演習	〃	2
	革新的機能病態内科学演習	〃	2
	実践的呼吸器病態学演習	〃	2
	革新的小児科学演習	〃	2
	実践的外科腫瘍学演習	〃	2
	心臓血管外科学演習	〃	2
	革新の胸部外科学演習	〃	2
	革新の腎泌尿器科学演習	〃	2
	革新の生殖機能医学演習	〃	2
	革新の麻酔・集中治療医学演習	〃	2
	未来型救急・災害医療演習	〃	2
	実践的運動器医学演習	〃	2
	革新の皮膚病態学演習	〃	2
	革新の視覚病態学演習	〃	2
	革新の耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	〃	2
	革新の口腔顎顔面病態外科学演習	〃	2
	臨床神経内科学演習	〃	2
	臨床神経外科学演習	〃	2
	実践的小児神経学演習	〃	2
	革新の精神医学演習	〃	2
	革新の創薬・育薬演習	〃	2

	未来型医療情報システム演習	〃	2
	革新的臨床感染症学演習	〃	2
アドバンスドコース科目	グローバルイノベーション実践・Ⅰ	選 択	1
	グローバルイノベーション実践・Ⅱ	〃	1
	グローバルイノベーション実践・Ⅲ	〃	1
	革新的医療創造実践	〃	2
特別研究	特別研究	必 修	5

備 考 医学部・薬学部・歯学部からの入学者は、別表4の医学系研究科共通選択授業科目表に定める授業科目を履修することができ、当該履修した授業科目の単位について、6単位を超えない範囲で講義科目の単位として認めることができる。

医学部・薬学部・歯学部以外からの入学者は、「基礎医学概論」と「臨床医学演習」を必ず履修すること。

合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表1の4（第3条関係）  
医学系研究科医学専攻（障害児医療学コース）

区分	授業科目	必修・選択の別	単位数
講義科目	小児在宅医学特論基礎Ⅰ	必修	2
	小児在宅医学特論基礎Ⅱ	〃	2
	小児在宅医学特論応用	〃	2
	代謝学特論	〃	1
	脳形成異常特論	〃	1
	コミュニケーション特論	〃	1
	小児神経学特論	選択	4
	小児発達学	〃	2
	重症児呼吸器病態学特論	〃	2
	重症児循環器病態学特論	〃	2
	重症児腎泌尿器科学特論	〃	2
	発生・発達解析学特論	〃	8
	遺伝子診断学	〃	1
	代謝・情報系クラスター 脳・神経代謝機能学	〃	1
	先天代謝異常症と遺伝カウンセリング	〃	1
	先天代謝異常症と新生児マススクリーニング	〃	1
演習科目	実践的小児神経学演習	必修	1
	小児神経学トレーニング	選択	4
	発生・発達解析学演習	〃	4
実習科目	在宅人工換気実習	必修	1
特別研究	特別研究	必修	10

備考 「小児神経学トレーニング」「発生・発達解析学演習」から4単位以上修得すること。  
合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表2の1（第3条関係）

## 医学系研究科博士前期課程（医科学専攻）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称		単位数				備考
			1年次		2年次		
			前	後	前	後	
基盤的教育科目	必修	基礎医科学概論	1				
		実用的解剖学特論	1				
		実用的生理学特論	1				
		薬理学・薬物療法学特論	1				
		生命倫理学特論	1				
		医療安全学特論	1				
		知財戦略特論 I	1				
	小計	7				7単位	
分野横断的科目・ 専門家養成科目	分野横断的科目 選択	知財戦略演習 I		1			
		腫瘍医療学特論		2			
		認知症予防学特論	2				
		地域医療システム学特論		1			
		● 病態生理学特論	2				
		● 臨床薬理学特論	2				
		医療統計解析学特論		2			
		シミュレーションシステム演習		2			
		ストレス医療学特論	2				
	教育の原理と方法		2				
小計	8	10			1単位以上		
専門家養成科目（医科学）	選択	医療機器開発特論		2			
		分子神経科学特論	2				
		システム神経科学特論	2				
		細胞分化・老化機構学特論	2				
		細胞工学特論	2				
		遺伝子医科学特論	2				
		再生医科学特論	2				
		遺伝子再生医科学演習		2			
		再生医工学特論		2			
		再生医工学演習		2			

遺伝子治療学特論	2			
遺伝子治療学演習	2			
細胞分子機構学特論	2			
細胞分子機構学演習	2			
応用免疫学特論	2			
応用免疫学演習	2			
発生生物学特論		2		
発生生物学演習	2			
実験腫瘍病理学特論		2		
実験腫瘍病理学演習	2			
神経病態・遺伝子疾患学 特論	2			
神経病態・遺伝子疾患学 演習		2		
病態細胞学特論	2			
病態細胞学演習		2		
病態制御学特論	2			
病態制御学演習		2		
生体機能・情報解析学特 論	2			
生体機能・情報解析学演 習		2		
環境科学特論	2			
環境科学演習		2		
認知症予防学演習		2		
★ 基礎人類遺伝学特論 I	2			
★ 基礎人類遺伝学特論 II		2		
★ 基礎人類遺伝学演習 I	1			
★ 基礎人類遺伝学演習 II		1		
★ 臨床遺伝学特論	1			
★ 臨床遺伝学演習		1		
★ 遺伝サービス情報学演習	1			
★ 遺伝医療と社会特論		1		
★ 遺伝医療と倫理演習		1		
★ 遺伝カウンセリング特論	2			
★ 遺伝カウンセリング演習		1		



		I							
	★	遺伝カウンセリング演習 II			1				
	★	遺伝カウンセリング実習 I		2					
	★	遺伝カウンセリング実習 II				4			
	小計		35	43	1	4	8単位以上 ※「医科学」の学位を取得する者のみ		
専 門 家 養 成 科 目 ( 保 健 学 )		○ 看護管理学特論		2					
		○ 看護理論	2						
		生活機能看護学特論	2						
		生活機能看護学演習		2					
		成人看護学特論	2						
		成人看護学演習		2					
		高齢者看護学特論	2						
		高齢者看護学演習		2					
		地域母子看護学特論	2						
		地域母子看護学演習		2					
		成育看護学特論	2						
		成育看護学演習		2					
	選	統合支援看護学特論		2					
	択	統合支援看護学演習		2					
		コミュニティヘルス看護学特論	2						
		コミュニティヘルス看護学演習		2					
		○ 看護コンサルテーション特論	2						
		○ 看護倫理学特論	2						
		○ 看護学研究方法特論	2						
		○ 看護教育学特論		2					
	● フィジカルアセスメント特論	2							
	● がん看護に関する病態生	2							

		理学					
		● がん看護に関する理論	2				
		● がん治療支援に関わる看護援助論	2				
		● 緩和ケア特論Ⅰ	2				
		● 緩和ケア特論Ⅱ		2			
		● 緩和ケア演習Ⅰ		2			
		● 緩和ケア演習Ⅱ		2			
		● がん看護学実習Ⅰ		2			
		● がん看護学実習Ⅱ		2			
		● がん看護学実習Ⅲ			6		
	小計		30	30	6		8単位以上 ※「保健学」の学位を取得する者のみ
	合計		73	83	7	4	13単位以上
特別研究	必修	医科学特別研究	10				「医科学」の学位を取得する者のみ
		保健学特別研究	10				「保健学」の学位を取得する者のみ
	小計				20	10単位以上	
総計			80	83	7	24	30単位以上

認定遺伝カウンセラーの受験資格取得を目指す学生は、★印の科目の単位を修得すること。

がん看護専門看護師専門看護師教育課程の修了を目指す学生は、●印の科目の単位を修得し、かつ、○印の科目から8単位以上を修得すること。

別表2の2 (第3条関係)

## 医学研究科修士課程(臨床心理学専攻)授業科目表

区 分	授 業 科 目	必修・選 択の別	単位数
必修科目	医学概論	必 修	2
	臨床心理学特論 I	〃	2
	臨床心理学特論 II	〃	2
	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践) *3	〃	2
	臨床心理面接特論 II	〃	2
	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)*1 *3	〃	2
	臨床心理査定演習 II *1	〃	2
	臨床心理基礎実習*1	〃	2
	臨床心理実習 I (心理実践実習 II) *1 *3	〃	5
	臨床心理実習 II *1	〃	1
	臨床心理特別研究	〃	8
選択必修科目 A	臨床心理学研究法特論*2	選択必修	2
	心理統計法特論*2	〃	2
選択必修科目 B	発達心理学特論*2 (福祉分野に関する理論と支援の展開) *3	選択必修	2
	教育心理学特論*2 (教育分野に関する理論と支援の展開) *3	〃	2
選択必修科目 C	家族心理学特論*2 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) *3	選択必修	2
	臨床心理関連行政論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)*2 *3	〃	2
選択必修科目 D	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)*2 *3	選択必修	2
	心身医学特論*2	〃	2
選択必修科目 E	グループアプローチ特論*2	選択必修	2
	心理療法特論*2	〃	2
選択科目	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開) *3	選択	2
	ストレスマネジメント特論 (心の健康教育に関する理論と実践) *3	〃	2
	心理実践実習 I *1 *3	〃	2
	心理実践実習 III *1 *3	〃	1
	心理実践実習 IV *1 *3	〃	2

備 考 \*1 通年。

- \*2 選択必修科目 A～E の各区分から必ず 1 科目以上を選択する。
- \*3 公認心理師法施行規則（平成 29 年文部科学省・厚生労働省令第 3 号）第 2 条に規定する大学院における公認心理師となるために必要な科目

別表3 (第3条関係)

## 医学系研究科博士後期課程(医科学専攻) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称		単位数						備考
			1年次		2年次		3年次		
			前	後	前	後	前	後	
基盤的教育科目	必修	医科学研究特論	1						本専攻の前期課程を経ずに本専攻の後期課程に入学した者は、本専攻博士前期課程の「基礎医科学概論」を単位外として履修すること。
		生命・医療倫理学特論	1						
		高次基盤医学特論	1						
	小計	3						3単位	
スペシャリスト教育科目・アドバンス教育科目	スペシャリスト教育科目(医科学)	知財戦略特論Ⅱ	2						
		知財戦略演習Ⅱ	1						
		分子応答制御学特論Ⅰ	2						
		分子応答制御学演習Ⅰ	1						
		生体防御学特論Ⅰ	2						
		生体防御学演習Ⅰ	1						
		高次発生生物学特論Ⅰ	2						
		高次発生生物学演習Ⅰ	1						
		先端腫瘍学特論Ⅰ	2						
		先端腫瘍学演習Ⅰ	1						
		行動神経科学特論	2						
		行動神経科学演習	1						
		遺伝子・染色体機能医工学特論	2						
		遺伝子・染色体機能医工学演習	1						
分子医学特論	2								

		分子医学演習	1						
		腫瘍生物学特論	2						
		腫瘍生物学演習	1						
		循環再生医学特論	2						
		循環再生医学演習	1						
		先進保健学特論	2						
		心理臨床学特論 I	2						
		心理臨床学演習 I	1						
	小計		35						2単位以上 ※「医学」の学位を取得する者のみ
スペシャリスト教育科目(保健学)	選択	統合保健学研究方法特論	2						
		成人・高齢者保健学特論	2						
		成育地域保健学特論	2						
		地域保健学特論	2						
	小計		8						2単位以上 ※「保健学」の学位を取得する者のみ
アドバンス教育科目(医科学)	選択	分子応答制御学特論 II		2					
		分子応答制御学演習 II		1					
		生体防御学特論 II		2					
		生体防御学演習 II		1					

	高次発生生物学特論Ⅱ	2				
	高次発生生物学演習Ⅱ	1				
	先端腫瘍学特論Ⅱ	2				
	先端腫瘍学演習Ⅱ	1				
	神経機能再生学特論	2				
	神経機能発達学特論	2				
	染色体医工学特論	2				
	染色体医工学演習	1				
	腫瘍生物応用医科学特論	2				
	腫瘍生物医科学演習	1				
	組織工学特論	2				
	組織工学演習	1				
	腫瘍治療学特論	2				
	腫瘍治療学演習	1				
	先進保健学統合演習	1				
	先進保健学探索演習	1				
	心理臨床学特論Ⅱ	2				
	心理臨床学演習Ⅱ	1				
	小計	33				1単位以上 ※「医科学」の学位を取得する者のみ
アドバンス教育科目(保健学)	選択	成人・高齢者保健学統合演習	1			
		成人・高齢者保健学探索演習	1			
		成育地域保健学統合演習	1			

		成育地域保健学探索演習	1						
		地域保健学統合演習	1						
		地域保健学探索演習	1						
		小計	6					1単位以上 ※「保健学」の学位を取得する者のみ	
	合計		43	39	0	0	0	0	5単位以上
特別研究	必修	統合医科学特別研究	4					「医科学」の学位を取得する者のみ	
		統合保健学特別研究	4					「保健学」の学位を取得する者のみ	
	小計						8	4単位以上	
総計			46	39	0	0	0	8	12単位以上

【入学前教育】 本専攻の前期課程を経ずに、本専攻の後期課程に入学する者は、基礎医学知識修得のため、本専攻博士前期課程「基盤的教育科目」の中の「実用的解剖学特論」，「実用的生理学特論」，「薬理学・薬物療法学特論」を単位外として入学前に受講すること。ただし、基礎医学知識が既に身につけていると学歴から判断される者についてはこの限りではない。

別表4（第3条関係）

医学系研究科共通選択授業科目表

コース	授業科目	単位数
臨床研究コース	臨床研究セミナーⅠ	1
	臨床研究セミナーⅡ	1
	臨床研究セミナーⅢ	1
	臨床研究セミナーⅣ	1
	臨床研究セミナーⅤ	1
	臨床研究セミナーⅥ	1
	TBRFセミナー	1
医学研究基盤コース	医療倫理学	1
	臨床医学研究基盤Ⅰ	1
	臨床医学研究基盤Ⅱ	1
	実験医学研究基盤Ⅰ	1
	実験医学研究基盤Ⅱ	1



遺伝子・再生・染色体工学コース	染色体と遺伝子	1
	蛋白質，酵素，脂質と疾患	1
	遺伝子再生医学と臨床応用	1
	臨床の遺伝子再生医学	1
臨床腫瘍医学コース	臨床腫瘍医学総論Ⅰ	1
	臨床腫瘍医学総論Ⅱ	1
	臨床腫瘍医学各論Ⅰ	1
	臨床腫瘍医学各論Ⅱ	1
	臨床腫瘍医学各論Ⅲ	1
	臨床腫瘍医学各論Ⅳ	1
感染・免疫・アレルギーコース	免疫学概論Ⅰ	1
	免疫学概論Ⅱ	1
	感染症の基礎と臨床	1
	アレルギー性疾患の基礎と臨床	1
生活習慣病コース	生活習慣病の病態Ⅰ	1
	生活習慣病の病態Ⅱ	1
	生活習慣病の治療	1
	生活習慣病への介入	1
脳と心の医学コース	脳機能解析学	1
	最近の精神神経疾患のトピックスⅠ	1
	最近の精神神経疾患のトピックスⅡ	1
	地域医療への取り組み	1
救急・急性期医療学コース	救急・急性期医療学	1
臨床心理学専用コース	医療と心理臨床	1